

平成24年3月期  
第2四半期決算説明会資料

---

曾田香料株式会社  
代表取締役社長 中地俊朗

# 目次

---

- I. 会社概要
- II. 国内香料市場推移
- III. 平成24年3月期 第2四半期決算概要(連結)
- IV. 平成24年3月期 通期業績予想(連結)
- V. 中国事業(曾田香料(昆山))の強化・拡大

※ 当資料は、「第2四半期累計」を以下、「上期」と記述します。

# I . 会社概要

# 会社概要

- 1) 設 立 昭和47年9月(創業 大正4年4月)
- 2) 資 本 金 14億9千万円
- 3) 事 業 所 本社(東京都中央区日本橋小伝馬町)  
野田工場(千葉県野田市)、郡山工場(福島県郡山市)  
大阪支店、札幌営業所

## 4) 関係会社

- |             |   |
|-------------|---|
| 連 結 子 会 社   | 岡山化学工業(株)、(株)ソダアクト<br>台湾曾田香料(股)有限公司<br>曾田香料(昆山)有限公司 |
| 持分法適用非連結子会社 | 遠東香料(股)有限公司   |

## 5) 従業員数

- |     |      |
|-----|------|
| 連 結 | 408名 |
| 単 体 | 292名 |

## 6) 事業内容

### ■ フレグランス（香粧品香料）

シャンプー・リンス、石鹸、芳香剤、入浴剤等に使用



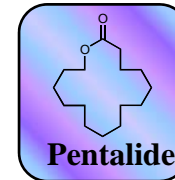
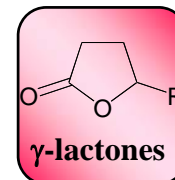
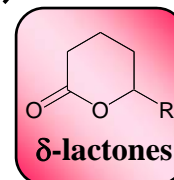
### ■ フレーバー（食品香料）

飲料、菓子、調味、たばこ、飼料等に使用



### ■ 合成香料・ケミカル

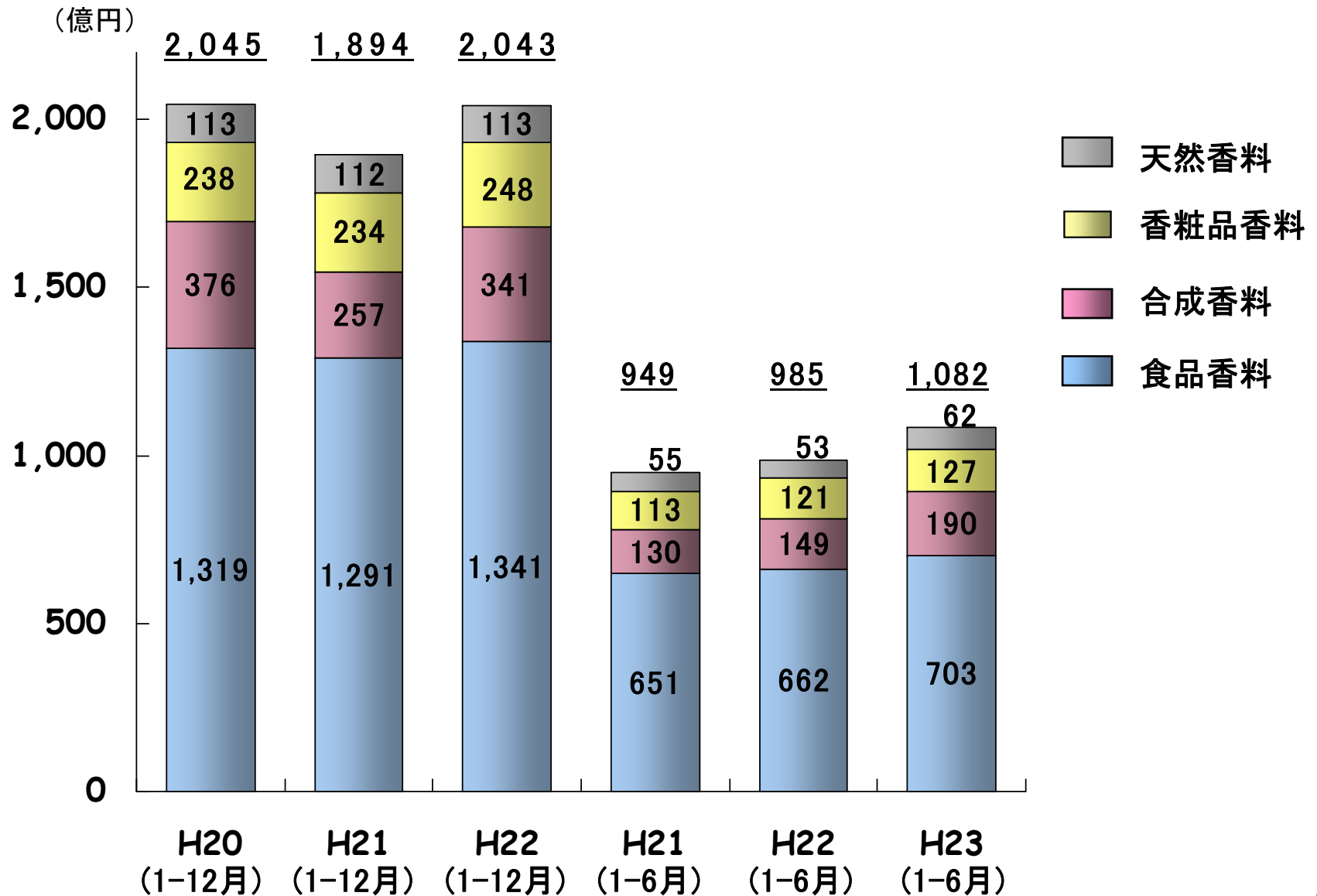
- ・ラクトン類、大環状ムスク等のフレグランス・フレーバー素材
- ・ガス着臭剤（都市ガス・LPG用）
- ・化成品（電子材料用、医薬・農薬中間体等）



## Ⅱ. 国内香料市場推移

# 国内香料市場推移(製品販売金額ベース)

(日本香料工業会 販売統計より)



## Ⅲ. 平成24年3月期 上期決算概要(連結)

# 連結P/Lの概要

(億円)

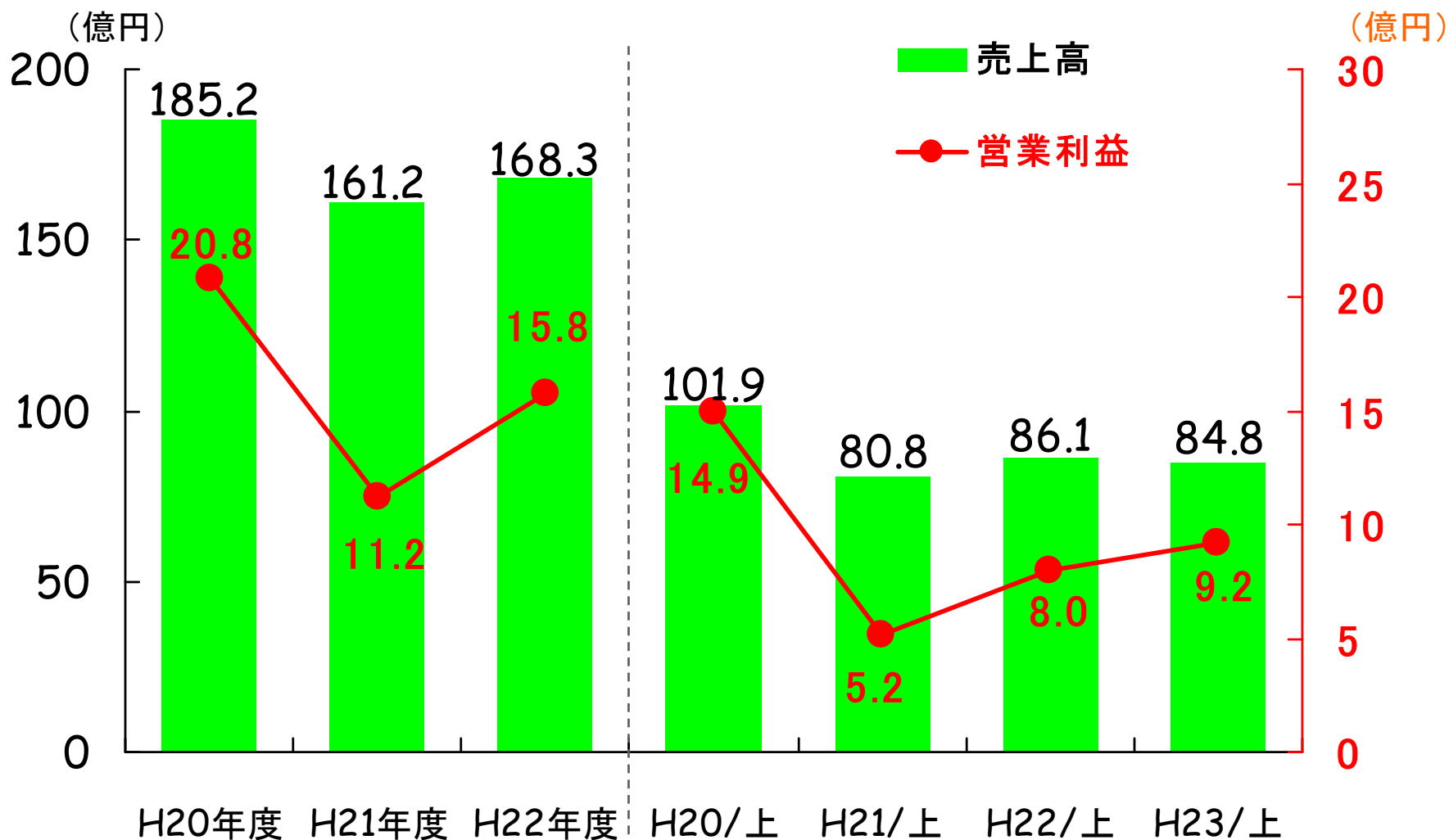
	前上期		当上期		増減	
	H22/9	構成比(%)	H23/9	構成比(%)	金額	率
売上高	86.1	100.0	84.8	100.0	△ 1.3	△ 1.5%
売上原価	58.7	68.2	56.7	66.8	△ 2.0	△ 3.5%
売上総利益	27.4	31.8	28.2	33.2	+ 0.8	+ 2.8%
販管費	19.4	22.5	18.9	22.3	△ 0.5	△ 2.3%
営業利益	8.0	9.3	9.2	10.9	+ 1.2	+ 15.4%
経常利益	7.8	9.1	9.2	10.8	+ 1.4	+ 17.4%
上期純利益	4.6	5.3	5.1	6.0	+ 0.5	+ 11.6%

## ポイント

◎売上高は前年同期比1.3%減

◎利益は前年同期比で増益

# 売上高・営業利益推移



# セグメント別概況(1)

## 調合香料事業

- ①フレグランスはシャンプー用を中心に増加
- ②フレーバーは天候不順や震災・原発事故等の影響により減少

(億円)

	前々上期 H21/9	前上期 H22/9	当上期 H23/9	前年同期比増減	
				金額	率
売上高	43.5	43.5	41.8	△1.7	△4.1%
営業利益	5.3	6.0	5.7	△0.3	△4.4%

※H21/9期は、現セグメントに合わせて遡って作成

## セグメント別概況(2)

### 合成香料・ケミカル事業

- ①合成香料は円高・原発事故の影響により減少
- ②ケミカル製品の売上増と売上原価ダウンにより増益

(億円)

	前々上期 H21/9	前上期 H22/9	当上期 H23/9	前年同期比増減	
				金額	率
売上高	23.6	27.3	26.8	△0.5	△1.9%
営業利益	△1.8	1.3	2.1	+0.8	+62.2%

※H21/9期は、現セグメントに合わせて遡って作成

# セグメント別概況(3)

## 海外事業

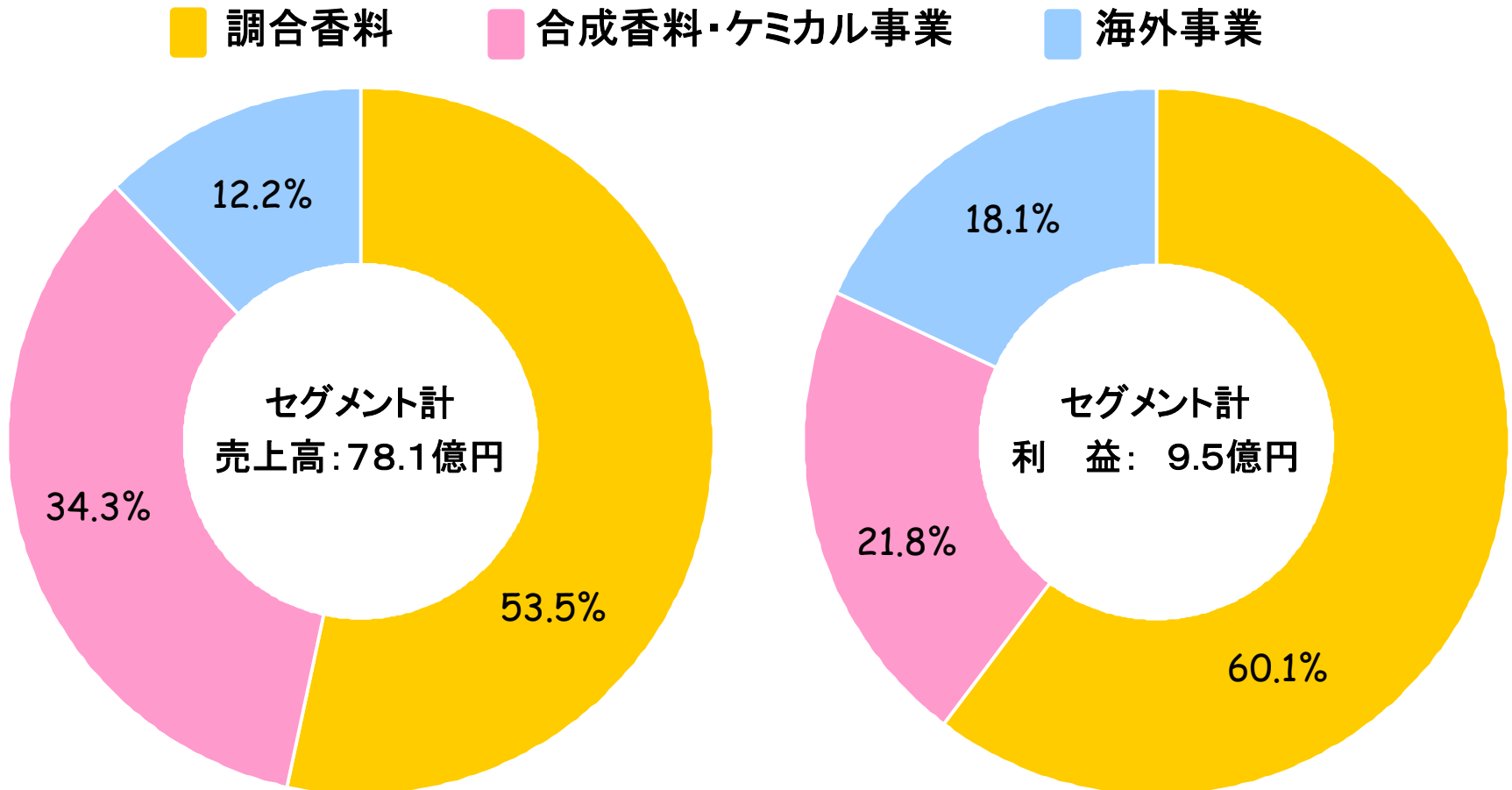
中国の曾田香料（昆山）の販売増により前年比増収増益

(億円)

	前々上期 H21/9	前上期 H22/9	当上期 H23/9	前年同期比増減	
				金額	率
売上高	8.2	9.3	9.6	+0.3	+3.0%
営業利益	1.4	1.5	1.7	+0.2	+17.9%

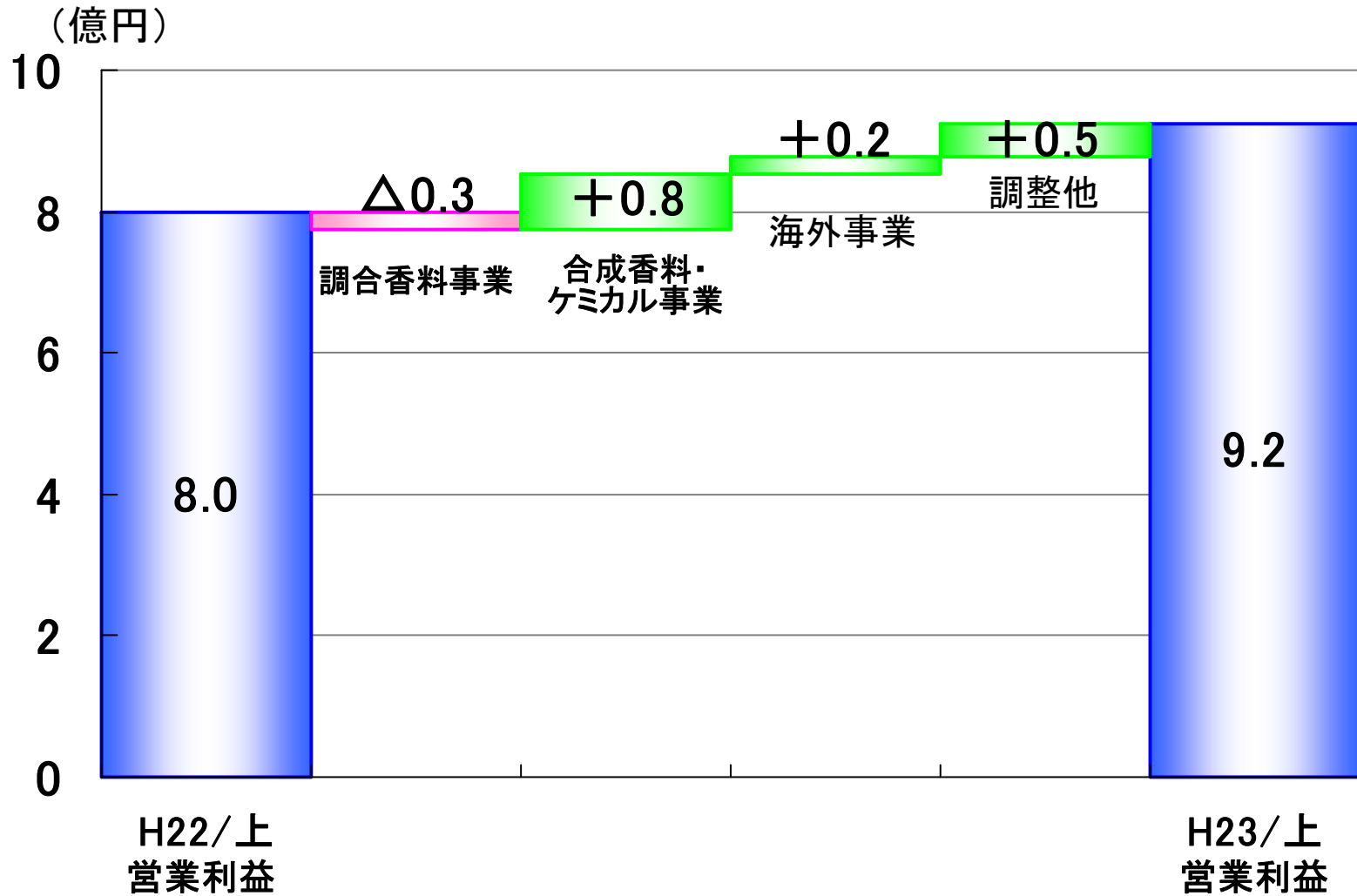
※H21/9期は、現セグメントに合わせて遡って作成

# セグメント別構成比率



注:セグメント計の数値には3セグメントの合計値以外の数値は含まれておりません。

# 営業利益増減要因



# 連結B/Sの概要

(億円)

	H23/3	H23/9	増 減
総 資 産	188.6	195.2	+ 6.6 (+3.5%)
純 資 産	130.4	135.2	+ 4.8 (+3.7%)
自己資本比率	67.9%	67.9%	± 0.0ポイント
1株当たり 純 資 産	1,281.25円	1,326.32円	+45.07円 (+3.5%)


 ポイント

◎純資産は4.8億円増加

# ①資産の部

(億円)

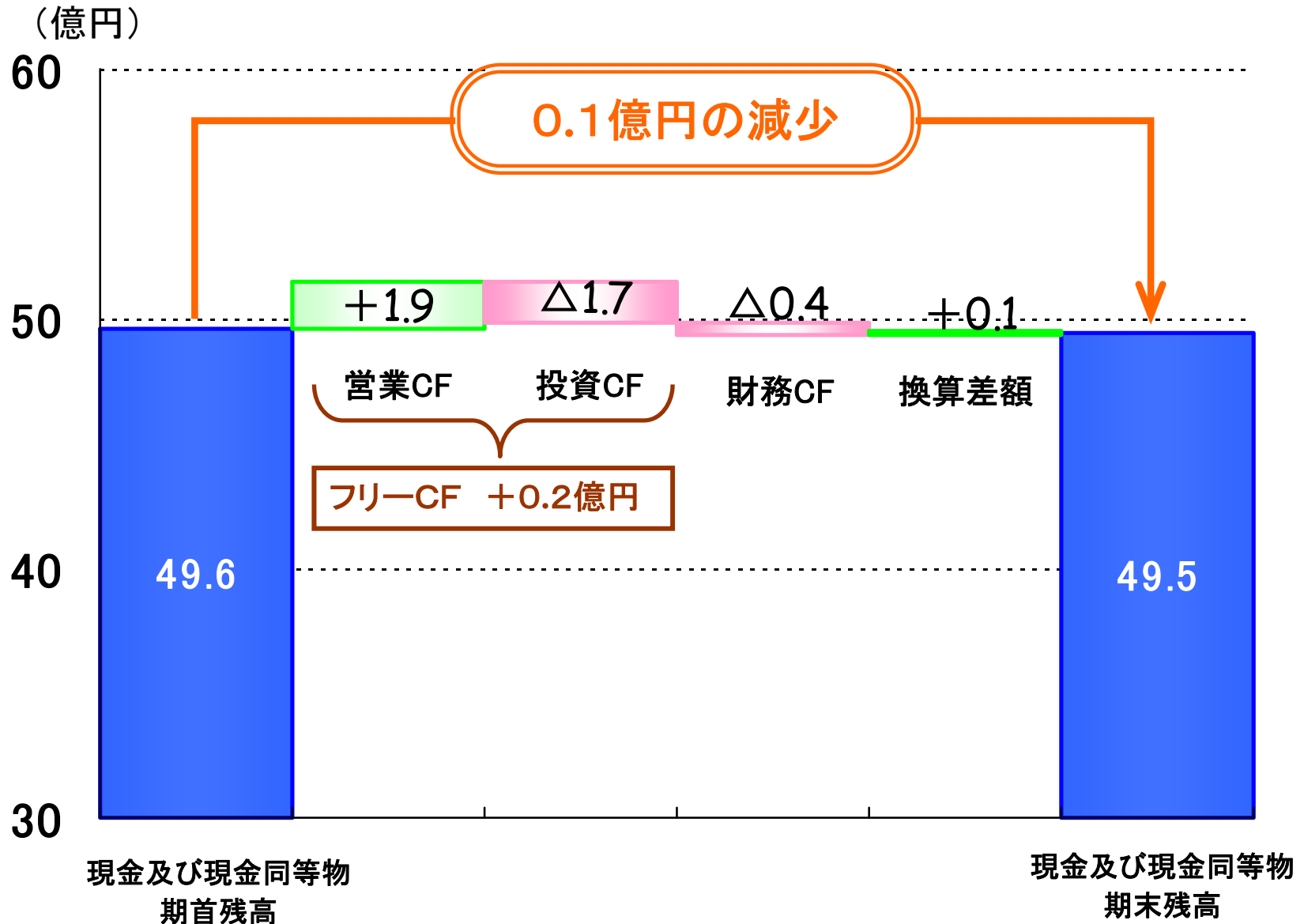
	H23/3	H23/9	増 減	特記事項
資 産 合 計	188.6	195.2	+ 6.6	
流 動 資 産	129.4	137.7	+ 8.3	売上債権、たな卸資産の増加
有形固定資産	44.3	42.7	△ 1.6	固定資産の償却
無形固定資産	1.0	0.9	△ 0.1	
投資その他	13.9	13.9	+ 0.0	

## ②負債・純資産の部

(億円)

	H23/3	H23/9	増 減	特記事項
負 債 合 計	58.2	60.0	+ 1.8	
流動負債	38.0	39.7	+ 1.7	仕入債務の増加等
固定負債	20.2	20.3	+ 0.1	
純 資 産 合 計	130.4	135.2	+ 4.8	利益剰余金の増加
(うち利益剰余金)	(99.2)	103.6)	(+4.4)	
有利子負債残高	5.0	5.3	+ 0.3	海外事業での運転資金の増加
D/Eレシオ(倍)	0.04	0.04	+ 0.00	

# キャッシュ・フローの概要



# 東日本大震災の影響

## <状況>

- ・非常時におけるサプライチェーンの確保が顧客の重要課題となっている。
- ・フレーバー製品の主力工場である郡山工場が原発より西63kmにあり、一部顧客より、今後の製品の安定供給と安全性確保が期待されている。
- ・上期は、放射能問題により海外の一部顧客への合成香料、フレーバー製品の輸出が減少。

## <対策>

- ・製品の放射能検査・測定による安全性の確保
- ・OEM生産、首都圏及び関西圏での社外倉庫の確保
- ・郡山工場以外の自社工場も含めたフレーバーの第2生産拠点の検討
- ・一部海外顧客への放射能問題対応として、台湾曾田、曾田香料(昆山)への生産移管

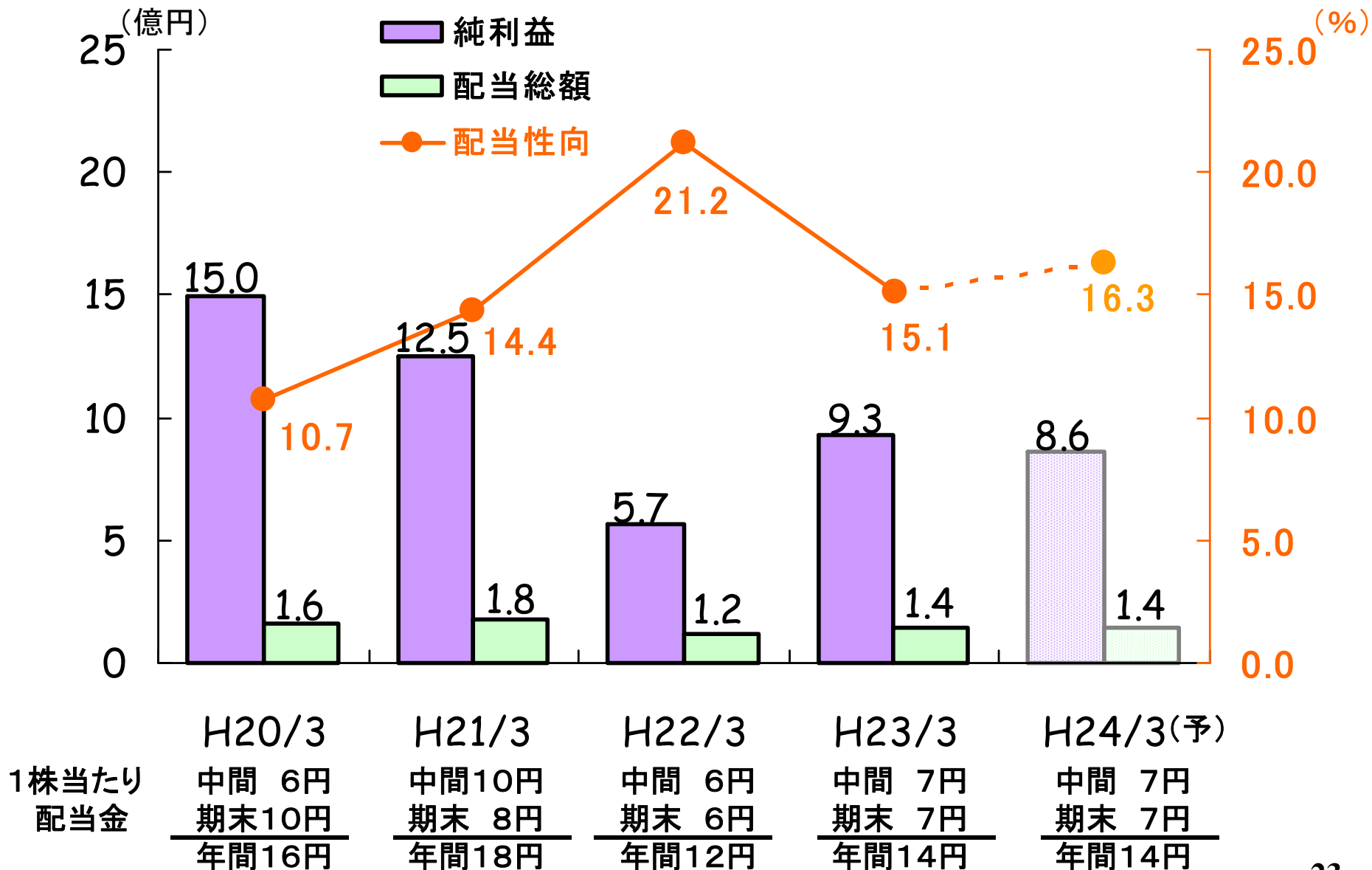
## IV. 平成24年3月期 通期業績予想 (連結)

# 平成24年3月期 通期業績予想

億円

	H23/3	H24/3 (予想)	増加率
連結売上高	168.3	169.2	+0.5%
営業利益	15.8	15.2	△4.0%
経常利益	15.2	15.2	△0.2%
当期純利益	9.3	8.6	△7.2%

# 純利益・配当総額と配当性向の推移



## V. 中国事業（曾田香料（昆山））の強化・拡大

## 1. 事業環境

中国香料市場(生産金額ベース)は2009年(億円)で約2,080億円と日本市場を超えており、生産量では約4倍(フレーバーは2倍)となっている。

中国のフレーバー市場は、生活水準の向上や欧米化に伴い、今後も確実に成長することが予想される。

### 香料市場 ( )内はフレーバー

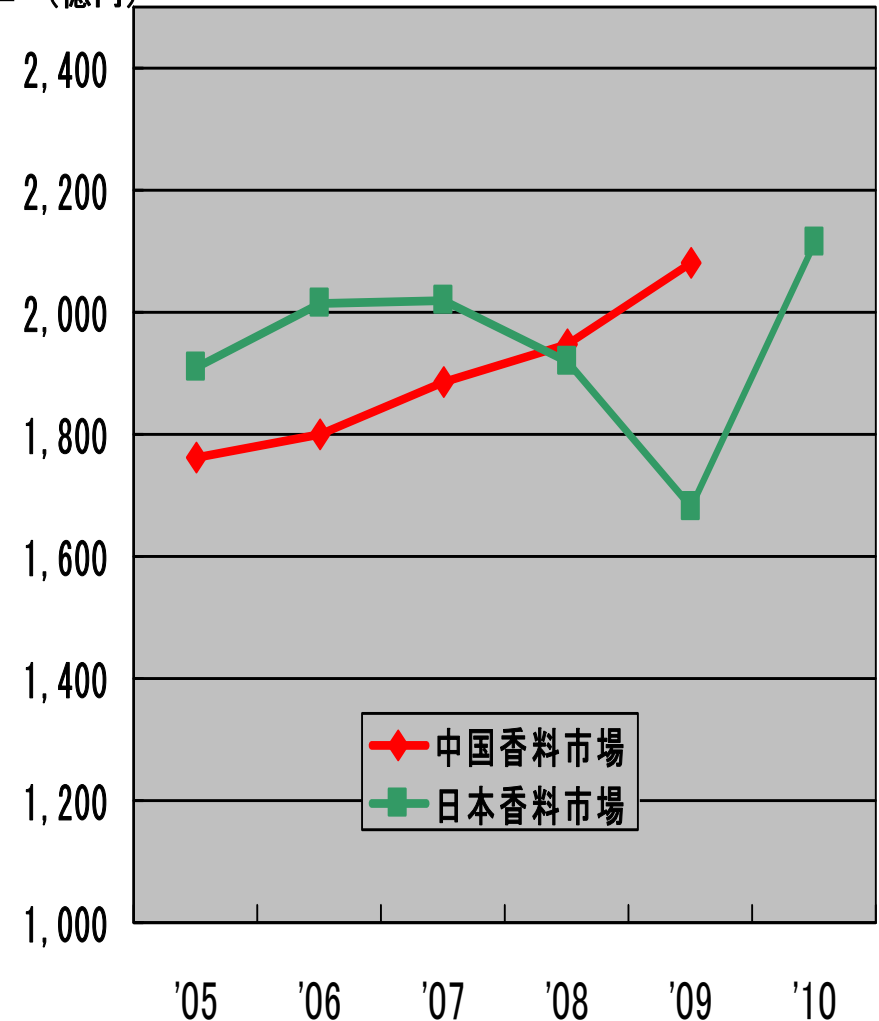
#### 2008年

- ・中国: 27.0万トン (10.0万トン) 1,950億円
- ・日本: 8.0万トン ( 5.8万トン) 1,921億円

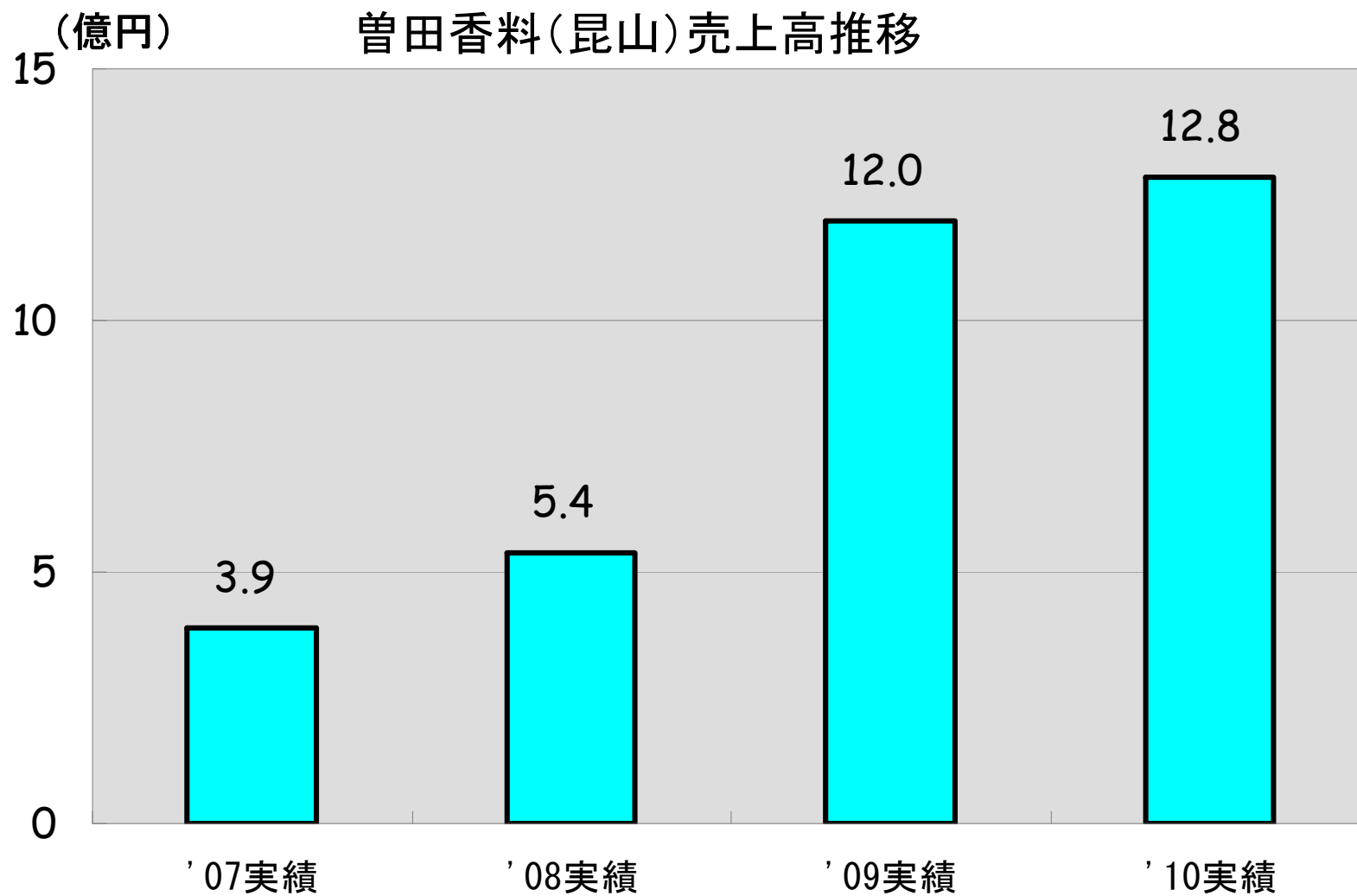
#### 2009年

- ・中国: 28.8万トン(11.0万トン)2,080億円
- ・日本: 7.3万トン( 5.5万トン)1,682億円

中国・日本香料市場規模推移



## 2. 業績推移



本資料中の平成24年3月期業績予想、見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

本資料に関するお問い合わせ

曾田香料株式会社  
財務部

TEL : 03-5645-7340 (代)

FAX : 03-3668-6289 (代)